

## 活動トピックス (2016～2018年度) -Topics (FY2016 - 2018)-

富士通フロンテックグループでは、「第8期環境行動計画」の3ヶ年（2016～2018年度）において、GHG排出量および廃棄物発生量の削減をはじめ、ペーパーレスの推進や製造現場における改善活動などを通じて、環境負荷の低減に努めました。

### 自らの事業活動

#### GHG排出量の削減

事業活動に伴うGHG排出量を削減するため、各事業所では空調・照明設備を順次、高効率タイプに入れ替えました。また、本社・東京工場では大型チャンバーを最新式に、新潟工場では屋上変圧設備の台数を集約するとともに、最新式に更新しました。

一方、物流面においては、新潟工場の製造機能を海外の工場へ移管、現地調達とすることで、組み立て部品などの輸送量を大幅に抑制し、物流に由来するGHG排出量の削減を実現しました。



最新式チャンバー



食堂のLED照明化

#### 廃棄物発生量の削減

事業所から出る廃棄物の発生量を削減するため、各事業所では有価物の拡大や分別の徹底などを行いました。例えば、本社・東京工場では、廃棄物の保管容器を品目ごとに用意し、写真と品名を印刷したプラカードを掲示することで、従業員の分別意識の向上を図りました。

一方、環境リスク低減の観点から、排出事業者の責任として、産廃処分業者の現地監査を行い、委託した廃棄物が適正に処理されているか確認しました。また、PCB廃棄物に関しては本社・東京工場および新潟工場において、高濃度・微量ともに全廃を完了しました。



細かな分別



処分業者の現地監査

### 業務の効率化・省力化

#### ペーパーレスの推進

2017年度から開始した「働き方改革」の一環として「全社ペーパーレス推進会議」を立ち上げ、「会議のペーパーレス化」と「オフィスのペーパーレス化」の2本立てで取り組みました。

「会議のペーパーレス化」では、各拠点に高性能なプロジェクターや大型モニターを設置し、紙資料なしで会議を行えるようにしました。一方、「オフィスのペーパーレス化」では、専門コンサルタントから「紙文書のスリム化」メソッドについてレクチャーを受け、その手法を全社へ水平展開し、紙文書を削減するとともに、電子化を進めました。



大型モニター



ペーパーレスの会議

#### RPAの導入

同じく「働き方改革」の一環として、RPA（Robotic Process Automation）を導入し、単純業務の自動化による業務時間の短縮を図りました。これにより、2018年度には全社で約1,000時間の時間短縮を実現し、OA機器などの消費電力の削減にもつながりました。

#### 製造現場における改善活動

新潟工場では改善活動の一環として、毎月「改善自慢」と「失敗に学ぶ」の発表会を開催しています。この活動は部門や作業チームが自ら実施した改善事例や失敗事例を発表し、その内容について他部門から質問や意見を出し合い、その場で振り返りや効果の評価、水平展開の要否が行われるユニークな取り組みです。

改善事例は多種多様で、前述の「RPAによる業務改善」や「作業工程の見直し」、「新技術の導入」、「作業手法／治具の改善」、「スペース改善」など、さまざまな課題に積極的に取り組み、工数削減／品質向上／コストダウン／環境負荷低減に大きな効果を上げています。

なお、付帯効果として、工場内に確実なPDCAが根づくことと、他部門の動向を認識することで、よい意味での競争意識や連携体制が展開されています。